

研究課題名

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者における GNRI が予後に及ぼす影響

Impact of geriatric nutritional risk index on prognosis in patients with DLBCL

研究グループ

研究責任者：李心

共同研究者：鶴見寿、原武志、藤田慧

研究の目的および概要

低栄養は様々な悪性疾患の患者の 40～80%に見られ、生命予後に影響を及ぼすことが知られています。Geriatric nutritional risk index (GNRI) は、高齢入院患者を対象とした簡便で信頼性の高い栄養評価スケールとして広く使用されている指標です。我々はこれまでに、GNRI が高齢者びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) の予後予測に有用であることを報告しています。そこで 18 歳以上の全年齢の DLBCL 患者における GNRI が予後に及ぼす影響について解析することを目的とし、本研究を立案しました。また、GNRI が国際予後指指標 (IPI) に対して付加的な予後予測能を有するかどうかについても検討します。

この研究では、2018 年 4 月 1 日から 2029 年 3 月 31 日の期間内に当院でびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫と診断された 18 歳以上の全年齢の患者さんを対象としています。通常診療の過程で得られた血液検査結果や画像検査結果などの資料等を用いて研究を行います。これらは通常診療の中で発生するものであり、本研究によって対象者に新たな負担が発生することはありません。得られたデータを数値化・匿名化したのち、GNRI と生命予後の関係性を後ろ向きに統計解析を用いて評価します。

検査データやカルテに含まれる情報をこの研究に使用する際には、個人の氏名の代わりに研究用の番号をつけて取り扱います。また、カルテを閲覧する研究者は最小限とします。研究用の番号がどなたのものであるかを示す対応表のファイルは、パスワードをつけて病院内のインターネットに接続できないコンピュータに保管し、研究終了後 5 年間保存後に廃棄します。研究成果の発表に際し、個人が特定できるような情報が公開されることはありません。

利用する情報の項目

カルテ情報：診療録と検査データ（血算、生化学検査結果、染色体検査、腫瘍細胞の遺伝子検査、腫瘍細胞の細胞表面抗原マーカー）、病理検査結果、画像検査結果など。

利用するものの範囲

李心、鶴見寿、原武志、藤田慧

連絡先

松波総合病院

血液・腫瘍内科

李心

TEL: 058 388 0111 代

FAX: 058 388 4711